

令和 6 年度第 2 回桑名市総合教育会議 議事要旨

日 時・場 所	令和 7 年 1 月 31 日（金）午前 9 時 00 分～10 時 30 分 桑名市役所 3 階第 2 会議室
出 席 者	桑名市長 教育長 教育委員：3 名 事 務 局：11 名
議 事 次 第	1. 持続可能な部活動の在り方について 2. 令和 6 年度中学生議会実施報告について 3. その他
要 旨	1. 持続可能な部活動の在り方について 事務局より資料に基づいて説明 ・働き方改革の観点から、地域、民間の力を借りることに移行するのは必要なことかと思う。専門家に教えてもらえるメリットもある。 ・優れた能力を持っている子どもたちが土日に練習したいというなら報奨金を払うぐらいの考え方で取り組んだ方がいいのではないかな。 ・今あるクラブの休日の活動をどうするかと並行して、その子どもたちのニーズに応じた受け皿をどれだけ広げていくか、関係各所と連携して拡充をすることを検討して議論している。 ・部活に強制的に入れることができないというのはよくわかるが、入らない子がスマホやインターネットをする時間が増えるのではないかな心配だ。 ・先生という肩書がない指導者についていろいろクレームが出ないかな心配だ。 ・子どもたちからダンス部を作ってほしいと要望があった。学校部活動というくくりすると、顧問をつけなくてはならず大会に出ることになる。地域に根差したところとすると、ダンスの指導ができるところや楽しくサークル的にやりたい子どもに受け皿を作ることができる。 ・子どもたちが通うことを考えると桑名市周辺に作ることとなるが、ばらばらに桑名市全部で統括ということも難しいので、地域の団体と協議をしながら体制準備を進めている。 ・土日の地域移行がスポーツに特化しているようなイメージがある。クラブや自分の余暇が楽しめない子たちに、やってみようかと思えるような地域移行を考えていただけるとありがたい。 ・地域クラブと学校部活動両方に関わる改訂したガイドラインは、指導や地域団体の管理下であればそれに特化する保険に入ることを示し、保護者の話を聞くための窓口が必要という話に繋がる。 ・どの部分に公的な手を入れるかということは、市当局とも考えていかなければならないと思う。部活動全盛期の考えのままだと今の子どものニーズは拾えないという気がする。 ・各競技団体で指導員を派遣してくれることもあれば現実的だという印象がある。

2 令和6年度中学生議会実施報告について

- ・先生から、子どもたちが一生懸命考え、楽しんでやってくれたという意見があった。みんなの意見をまとめるような民主主義の根幹から始めたことはよかったと思う。参加しなかった子どもたちへのフィードバックを含めて次回に繋げたい。
- ・今回は中学生が考えやすいテーマだったが、地域のことに关する内容を考えたり、高校生や大学生に繋げる取組もよいと思う。
- ・学校でとったアンケートでは、返しに行くのが面倒で借りに行かないということがあったので、配送を業者に頼んだときの問題も含めて、図書館や郵便局と協議の上何らかの形がとれればと考えている。
- ・誰でも見られるように動画視聴ができたのはすごくいい。
- ・大人がテーマを決めるなど誘導せず、各学校から募集して代表が話し合って決めるということで考えていきたい。
- ・デジタルがベースになり、議場に来なくても議論できるような世代の子どもたちが新しい民主主義の形を追求してくれるとありがたい。

3. その他

事務局より、次回の予定について連絡

(以上)